

学校での突然死ゼロを目指して

— 『ASUKAモデル』と小学校からの救命教育の推進—

* ASUKAモデルとは、さいたま市教育委員会が駅伝練習中に突然倒れ亡くなった桐田明日香さんの事故を踏まえ作成した「体育活動時等における事故対応テキスト」である。

学校管理下における事故対応能力の向上が求められているとともに、救命教育においても実習をとおして「身につけること」が強調されています。フォーラムでは、さいたま市立小学校の公開授業を踏まえ、学校事故の遺族、医師、救急救命士、教育委員会、養護教諭、教諭など救命教育の推進に係る人たちの議論を通して、学校での突然死ゼロを目指す取組の在り方や実践方策について探求していきます。

2018.2.10 sat

参加無料

10:00 ▶ 12:30 **さいたま市立馬宮東小学校**

事前申込

(住所：さいたま市西区大字西遊馬189-1)

※ 当日参加もできます。

※晴天時は校庭を駐車場として開放します。雨・雪等の天候の時は使用できません。

Program

10:00～10:45

救命教育の公開授業（5年1組）

11:00～12:30

シンポジウム

- ▶ BLS（一次救命処置）の重要性と学校教育への導入と支援
- ▶ 救命教育の実践とその成果と課題

BLS＝Basic Life Support（一次救命処置）の略

お申込み

E-mail

aedevents@aed-zaidan.jp

FAX

03-3253-2119（申込締切日 2018年1月31日）

代表者氏名	
ご所属	
連絡先	電話
	E-mail

※お申込用紙は一名ずつのご記入をお願いいたします。複数名でお申込みの場合は申込用紙をコピーしてお使いください。
【個人情報の取り扱いについて】ご記入いただいた個人情報は、本フォーラムに関する参加の申込み受付、連絡等のみに使用させていただきます。

学校での突然死ゼロを目指して

— 『ASUKAモデル』と小学校からの救命教育の推進—

プログラム

9時40分

開 場

10時00分

救命教育の公開授業

～10時45分

授業学級： 5年1組

授業者： 教諭（担任） 南 登志正

養護教諭 佐藤 直子

11時00分

シンポジウム

～12時30分

座長 桐淵 博（日本AED財団 理事）

- ▶ 「BLS(一次救命処置)の重要性と学校教育への導入の必要性」
京都橘大学健康科学部 西本 泰久
- ▶ 「BLS (一次救命処置)講習の普及と学校教育への支援」
日本赤十字社 事業局 救護・福祉部健康安全課 仙波 希予志
- ▶ 「ASUKAモデルへの想いと救命教育の推進」
桐田 寿子（桐田明日香さんのお母様）
- ▶ 「ASUKAモデル作成と小学校からの救命教育の推進及び成果」
さいたま市教育委員会 健康教育課 水村 吏香
- ▶ 「学校の危機管理体制の向上」
全国養護教諭連絡協議会 会長 村井 伸子
- ▶ 「救命教育の実践とその課題」
さいたま市立馬宮東小学校 教諭 南 登志正

主催

日本AED財団

BLS＝Basic Life Support(一次救命処置)の略

共催

さいたま市教育委員会、日本臨床救急医学会

後援（予定）

厚生労働省、文部科学省、消防庁、日本医師会、日本赤十字社、日本学校保健会、
全国学校安全教育研究会、全教図、大修館書店、学研メディカル秀潤社、朝日新聞社、
NHKさいたま放送局

お申込みお問い合わせ

一般財団法人 日本AED財団

TEL ▶ 03-3253-2111

HP ▶ <http://aed-zaidan.jp/>

FAX ▶ 03-3253-2119

